

2003 年 12 月 16 日

参考資料：テキサス州オースティン 12月8日（現地時間）発表

## パーベイシブ社、データ・ジャンクションの買収を完了 事業の発展に最適の組織を発表

データ/アプリケーション統合製品により高い収益性を誇るイノベーターが  
パーベイシブ内に新たな統合製品部門の基盤を創設

PC ソフトの開発・流通を手掛ける株式会社エージテック（本社：東京都千代田区 / 代表取締役：安藤由男）は、当社が販売している組み込み用データベースソフト Pervasive.SQL の開発元である米国パーベイシブ・ソフトウェア社（米国：テキサス州、オースティン）による米国データ・ジャンクション社（米国：テキサス州、オースティン）の買収が完了したことを発表いたします。

テキサス州オースティン発（2003 年 12 月 8 日）：

データ・インフラストラクチャ・ソフトウェアの世界的リーダーである米国パーベイシブ・ソフトウェア社（ナスダック：PVSU）は本日、テキサス州オースティンに本社のあるデータ/アプリケーション統合企業の実験先であるデータ・ジャンクション社の買収が完了したと発表しました。この買収では約 2,210 万ドルとパーベイシブの普通株 500 万株によって支払が行われました。

データ・ジャンクションは優れたデータ統合/変換技術および製品をパーベイシブにもたらし、これによってパーベイシブの既存のデータ管理製品、専門技術、顧客ベースは補完され、さらに強化されることとなります。この買収によって、データ・インフラストラクチャ・ソフトウェアの世界的リーダーであるパーベイシブの戦略は大きく前進することになり、顧客企業のデータ産業への投資を可能にします。

パーベイシブ・ソフトウェアの社長兼 CEO であるデビッド・シコラは次のように述べています。「データは、事業規模の大小に関係なく、すべての企業にとって血液のようなものです。データとして保管されている貴重な情報に簡単にアクセスし、利用することができるということは、成功するためには不可欠な要素です。当社のデータ・インフラストラクチャ・ソフトウェア製品ファミリーは着々と拡充されていますが、それらの製品によって、企業はその重要なデータを管理、統合、分析し、データの安全性も確保できるようになり、業界最高の性能、信頼性、コストを同時に利用できるようになります。」

### 事業の発展に最適の新組織

シコラは続けます。「世界市場における当社の位置づけを強化し、今後も収益性を向上させながら事業を展開できるようにするために、当社は製品別に 2 つの部門を新設し、それぞれの部門が担当製品に集中し、事業を拡大できる環境を構築しようとしています。」

150カ国で3万5,000を超える顧客を持つパーベイシブの組織は現在、地域別に編成された販売グループと、共通の本社サービス機能グループという2つの部門で構成されています。データ・ジャンクションの前社長であるマイケル・ホスキンスはパーベイシブの経営陣に加わり、データ/アプリケーション統合ソフトウェアを取り扱う統合製品部門の副社長兼ジェネラル・マネージャー(VP&GM)となります。また、パーベイシブのマーケティング担当副社長のスアード・サイトが副社長兼ジェネラル・マネージャーとしてデータベース製品部門の責任者に昇格します。両氏は共に、各々の担当部門の製品/市場開発の世界戦略の構築、遂行の責任を負うこととなります。

## 合併した企業の目標

シコラは次のように述べています。「当社の第一の目標は、データベース/統合ソフトウェア企業として成功をおさめ、収益性を維持し続けることです。また、相乗効果によって生まれる収益にも期待しています。例えば、データ・ジャンクション製品をパーベイシブの顧客に販売するとか、データ・ジャンクション製品の販売に当社の強固な国際的インフラストラクチャを活用するとか、パーベイシブとデータ・ジャンクションの製品群の法人向け販売チャンスを拡充するなどです。」

### 【データ・ジャンクションについて】

データ・ジャンクション社は1984年に創立され、1990年以来収益を上げてきました。同社は急速に成長しており、2002年度の年間売上高が970万ドルであったのに対し、2003年度は約1,400万ドルになりました。データ・ジャンクションは業界で20を超える重要な賞を獲得し、革新的統合技術の市場のリーダーであり、同社の技術を自社のアプリケーションに組み込んだ大手コンサルティング企業やソフトウェア・ベンダーなど2万5,000を超える顧客を擁しています。顧客の中には、システム・インテグレータのEDS、独立系ソフトウェア・ベンダーであるCardiff Software, Inc.をはじめ、Automatic Data Processing, Inc.、J.P. Morgan Chase & Co.、WebMD Corporationなど幅広いエンド・ユーザーが含まれています。これらの企業は、それぞれの顧客の分散したデータ・ソースを、自分で結び付けたり、顧客が結び付けるのを助けたりして、それらのデータの付加価値をますます拡大させることを可能にします。

### 【パーベイシブ・ソフトウェアについて】

パーベイシブ・ソフトウェアはデータ・インフラストラクチャ・ソフトウェアの世界的リーダーです。同社の受賞した製品によって、顧客はその重要なデータを管理、統合、分析し、データの安全性を確保することができるようになり、業界最高の性能、信頼性、コストを同時に利用できるようになります。パーベイシブの強みは、顧客ベースの規模と多様性によって実証されており、全世界のほぼすべての業界の市場で何万もの顧客を擁していることです。1994年に創設されたパーベイシブはテキサス州オースティンを拠点とし、150カ国を超える国々で製品の販売を行っています。より詳しい情報は、<http://www.pervasive.com>のウェブ・サイトで入手できます。

## 注意事項

このプレスリリースには、連邦証券法の意味の範囲において、下記に関する記述が含まれますが、それに限定されない予測的な記述が含まれます。すなわち、「データベース管理ソフトウェア業界の強み」、「データ・ジャンクションの経営陣および従業員と、パーベイシブの経営陣および従業員の統合」、「合併後にもたらされるマーケティング・チャンス」、「合併後の企業における市場拡大目標の達成能力、業界におけるリーダーシップの維持能力、一貫した収益性の達成能力」、「合併される側の企業における合併による戦略的メリットおよび経営上のメリット」、「合併により期待される、収益チャンスの拡大、経営上の効率の向上、コスト節減」、「パーベイシブの本社に対するデータ・ジャンクションの経

営の移行」、「合併後のパーベイスブにおける経営陣および取締役会の構成」、「合併に関する、米国連邦所得税上の非課税性」です。これらの記述には下記が含まれますが、それに限定されない、実際の結果と著しく異なる危険性および不明確性が含まれます。すなわち、「データ・ジャンクション/パーベイスブ間における従業員およびテクノロジーの統合の成功」、「パーベイスブおよびデータ・ジャンクションの製品とソリューションに対する需要の変動」、「提供製品の統合を成功させる能力」、「パーベイスブとデータ・ジャンクションの企業風土が適合しない可能性」、「提供製品に関するマーケティングの遅延の可能性」、「競合他社による新製品の導入、またはパーベイスブおよびデータ・ジャンクションの製品市場に対する新たな競合他社の参入」です。パーベイスブおよびデータ・ジャンクションの経営の統合は、タイムリーに、あるいはまったく成功しない可能性があります。パーベイスブは、データ・ジャンクションの取得によって期待される利益、あるいは相乗効果を実現できない可能性があります。実際の結果が、予測される記述から大きく異なるような事態をもたらす、その他の危険性および不確実性に関する詳細な情報は、パーベイスブが証券取引委員会（SEC）に提出した S-4 書式登録届出書などの最新の申告書類に示されています。パーベイスブおよびデータ・ジャンクションのいずれも、予測的な記述を更新して、このプレスリリース以降に生じた出来事または状況を反映させる義務を負いません。本リリースは、米国パーベイスブ・ソフトウェア社より発表されたものを翻訳しています。株式会社エージーテックは、本リリースの記載事項について一切の責任を負いません。

## 株式会社エージーテックについて

1984年4月設立以来、組み込み用データベースソフト Pervasive.SQL を中心に開発者向け製品を輸入、日本語化して販売を行っている。扱っている製品は4つのカテゴリに分けられ、データベース系の主な製品は Pervasive.SQL (旧 Btrieve)、ビジネスインテリジェンス系では Crystal Reports、開発者向け製品系では IP\*Works! や List & Label などのコンポーネント製品と Dotfuscator や ADOS XML Studio などのツール類、そして IT プロフェッショナルツール系では Winternals や PC-Duo Remote Control などを販売している。

Pervasive、製品名は米国 Pervasive Software Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
その他の会社名、製品名などは一般に各メーカーの登録商標または商標です。

本件に関する一般からのお問い合わせ先

株式会社エージーテック 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-21-1

TEL : 03-3293-5283 FAX : 03-3293-5270

URL : <http://www.agtech.co.jp/> E-Mail : [info@agtech.co.jp](mailto:info@agtech.co.jp)

報道関係の方々からのお問い合わせ先

株式会社エージーテック 担当:堀川

TEL : 03-3293-5300 E-mail : [PR@agtech.co.jp](mailto:PR@agtech.co.jp)